

平成29年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(後期日程)

小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は3ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙(横書き)に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

次の課題文を読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

(出典) 井手英策『日本財政 転換の指針』岩波書店、2016年(2013年)、一部改変(原文中の見出し等は、設問の都合上、省略した。また、注釈は問題作成者が付記した。)

<注釈>

(1) ターゲッティズムとは「所得の少ない人や生存が困難な人びとを発見し、そこにしぼって救済を行おうとする原理」(同書、25 ページ)であり、著者は、生活保護による生存の保障の仕組みをターゲッティズムの典型と考える(同書、26 ページ)。

(2) ユニバーサリズムとは「人間を所得の多寡や性別等で区別せず、等しく扱うこと」(同書、26 ページ)に本質があり、著者は、「あらゆる人びとに無償で提供される初等教育の仕組み」をユニバーサリズムの事例として取り上げている(同書、26 ページ)。

(問1) 課題文で論じられている国と地方自治体の役割について、「ターゲッティズム」と「ユニバーサリズム」の概念を用いて、400字以内で要約しなさい。

(問2) 課題文は、新しい財政や社会の姿を考える際に「自治体が果たす役割を再構築することから考えなければならない」と論じている。人口減少や少子高齢化、厳しい財政状況といった問題に直面しつつも、住民の多様な生活課題に効果的に対応するために、地方自治体には、どのような取り組みが求められると考えられるか。あなたの身近な地域に生起している生活課題の具体的事例を取り上げて、その解決に向けた取り組みのあり方を800字以内で論じなさい。